

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	路面電車活性化事業				シート番号	017-013
担当部署名	建築都市局	局	交通	部	交通政策	課 評価責任者(課長名) 松下

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	人と環境に優しい交通体系の構築など低炭素型都市構造への変革	有
	2	事業開始年度	平成 16 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	総合交通体系の形成、構築などの一環として、市域全体の活性化等に必要な路線である阪堺線(堺市内区間)の継続的な運行をめざし、支援策を実施する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	阪堺線沿線住民や通勤・通学者、来街者などの阪堺線利用者				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	阪堺線堺市内区間の軌道施設の改修等が実施されることにより、保安度の向上を図る。 利用者拡大策への支援等を実施することにより、阪堺線利用者数の増加を図る。				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	阪堺電気軌道(株)に対し、阪堺線の軌道施設の改修等のための経費や利用者拡大策への支援の経費を補助				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
		阪堺電気軌道(株)					

Ⅲ. 投入量

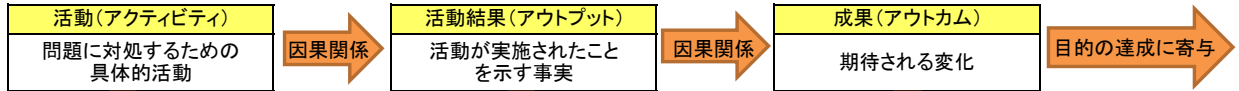
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	304,218	309,953	303,994	303,729	312,550	309,178	192,433	
	主な事業費内訳	補助金	千円	302,989	308,957	302,833	302,671	311,226	308,867	191,333
		委託料	千円	994	950	994	972	990	168	1,090
		その他	千円	235	46	167	86	334	143	10
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
		その他( 寄附金 )	千円					10,000	9,400	
		一般財源	千円	304,218	309,953	303,994	303,729	302,550	299,778	192,433
	12	人件費 (b)	千円	12,100	12,100	12,060	12,060	11,970	11,850	0
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	316,318	322,053	316,054	315,789	324,520	321,028	192,433	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	路面電車活性化事業	シート番号	017-013
-------	-----------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載  [15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載	<b>【達成率に基づいた評価基準】</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>評価</th> <th>達成率</th> </tr> <tr> <td>大変良い</td> <td>120%以上</td> </tr> <tr> <td>良い</td> <td>100%以上120%未満</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>80%以上100%未満</td> </tr> <tr> <td>少し悪い</td> <td>60%以上80%未満</td> </tr> <tr> <td>悪い</td> <td>60%未満</td> </tr> </table>	評価	達成率	大変良い	120%以上	良い	100%以上120%未満	普通	80%以上100%未満	少し悪い	60%以上80%未満	悪い	60%未満
評価	達成率												
大変良い	120%以上												
良い	100%以上120%未満												
普通	80%以上100%未満												
少し悪い	60%以上80%未満												
悪い	60%未満												

#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	・利用者拡大策への支援を実施。(高齢者利用割引、堺市内・大阪市内区間の運賃均一化、ゾーンチケット発行、周知広報) ・運行の継続に必要な経費への支援を実施。 ・施設高度化への支援を実施。(低床式車両(LRV)の導入)						
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	15	阪堺線・上町線の年間利用推計者数	人	目標値	8,273,455	8,357,405	8,441,355	8,525,305
				実績値	8,198,502	8,202,341	8,070,499	
				達成率	99%	98%	96%	
				評価	普通	普通	普通	
		算出方法・設定根拠など 阪堺電気軌道株式会社の運輸収入から推計。						
		16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	16	阪堺線堺市内区間の年間利用推計者数	人	目標値	2,324,841	2,348,431	2,363,579	2,480,864
				実績値	2,303,779	2,296,655	2,348,515	
達成率				99%	98%	99%		
評価				普通	普通	普通		
	算出方法・設定根拠など 阪堺電気軌道株式会社の運輸収入及び交通調査結果から推計。※堺市内区間利用とは、堺市内相互発着利用及び大阪市内～堺市内の2区間利用							

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
17	①	阪堺線・上町線の年間利用推計者数	人	8,198,502	8,202,341	8,070,499	
	②	上記①にかかる年間経費	千円	322,053	315,789	321,028	
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	39	39	40	
	備考(算出についての説明等)						
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	①						
	②	上記①にかかる年間経費	千円				
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位				
備考(算出についての説明等)							

#### 業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛の影響により、阪堺線・上町線の年間利用者数が前年度に比べて減少を示す一方、阪堺線堺市内区間の年間利用者数については、前年度よりも増加となっている。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	路面電車活性化事業	シート番号	017-013
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 平成22年10月より10年間にわたり阪堺線支援を実施しており、堺市内区間の存続と自立再生を目的として実施しているため影響がある。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 平成22年10月より10年間にわたり阪堺線支援を実施しており、堺市内区間の存続と自立再生を目的として実施しているため影響がある。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> 阪堺線堺市内区間の存続、自立再生を目的としており、取り組みを引き続き継続する必要があるため。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 感染防止策として交通事業者において次の2点が実施されている。 ・運転席横の飛沫防止シートの設置 ・車内の座席、吊り手、手すり、窓などに抗ウイルス・抗菌剤の噴霧加工
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	<b>効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□)</b> ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 (                      ) 関連事業名 (                      ) ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 (                      )	<b>理由・説明</b> 関連部局との連携により、阪堺線の利用促進や沿線活性化に本市が取り組むとともに、阪堺電軌においては、さらなる経費節減と、利用者増加につながる取り組みを行っている。 また老朽化対策・施設高度化への支援については国費を活用している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	令和2年9月末で阪堺線支援完了に伴い、令和3年度については国との協調補助など一部の事業を除き縮小となる。	